東　金　市　立　城　西　幼　稚　園

令　和　２　年　度

幼　稚　園　教　育　自　己　診　断　票

この診断は、幼稚園教育活動が幼児の実態や保護者・地域住民の幼稚園教育活動に対するニーズに対応しているかどうかについて、幼稚園自らが幼稚園教育計画の達成度を点検し、幼稚園教育改善のための方策を明らかにするために行うものです。

※各項目の評価については，A=4，B=3，C=2，D=1 として合計して平均値を出したものを示してあります。

内容				
園の組織と運営	教育目標	1	東金市の教育指導目標『生きる力をそなえた幼児の育成』から教育目標に立てましたが、幼児の実態に合ったもので、具体的に実践しやすいものでしたか。	3.6
	経営	1	園務分掌の分担･割り当ては、職員それぞれに適切でしたか。	3.6
		2	分担された分掌は、適切に処理しましたか。	3.2
		3	学年運営は円滑に行いましたか。	3.0
		4	幼児の実態に合った学級経営をしましたか。	2.6
		5	職員会議では、自由に意見が言えましたか。	3.8
		6	職員の意見は、園運営に反映されていますか。	3.8
		7	報告・連絡・相談がしやすい風通しの良い職場ですか。	3.8
	研修・研究	1	園内研修は適切で、職員の共通理解のもと研究が推進されましたか。	3.2
		2	研修や研究の成果が日常の保育実践に生かされていますか。	3.0
		3	~~研究会･研修会等に参加し、自己研鑽に努めましたか。~~	

反省点	改善案
・自分の担当する業務内容の把握を適切に処理できていないことがあった。	・自分の業務内容を適切に理解し、早めに業務を進めていくよう努める。
・園内研究では、職員の考え方、受け止め方は様々であり、共通理解が図れない部分があったように思う。	・園内研究では、できるだけ職員の考え方、受け止め方を引き出せるようにし、細かなところまで言葉にして伝えていくよう努める。
・園内研究では、「心の動き」という目には見えにくく、子どもへのかかわり方や気づき等、感じ方に差があると思った。	・園内研究の時だけではなく、普段の保育の中で気づいた点を話し合う等、共通理解を図っていく。
・個の育ちを考慮した上で保育を行ったり、クラスの保育を進めたり…と大勢の子どもがいる中で円滑に進めていくことは困難だった。また、その中で園内研究も意識した保育をしなければならなかったので、全体的に忙しくなってしまった。	・見通しのある保育を心がける。 ・忙しない中でも、些細な出来事をメモするなどして再確認できるようにする。
・新しいことが苦手なクラスであったため、活動への取り組みがゆっくりであった。	・幼児の姿に応じて、取り組む期間を早めに設け、楽しめる時間を増やしていく。

内　　容					
指導の重点	教育計画	1	年間指導計画は、幼児の実態や地域性、教育要領の改訂の重点を考慮して作成しましたか。		3.5
		2	週日案は、提出期日を守り見通しをもって作成することができましたか。		3.7
		3	園行事等の計画とその運営は適切でしたか。		3.8
			行事名		行事名	
			・始業式・終業式	３．８	・入園式・卒園式	3.6
			・誕生会	３．８	・~~園外保育~~	
			・~~お楽しみ会~~		・~~もちつき会~~	
			・運動会	３．８	・生活発表会	3.8
			・フリー参観	３．８	・~~給食参観~~	
	内容、方法	1	年間指導計画・週日案にもとづいて保育できましたか。			3.3
		2	園児の興味・関心・意欲を喚起した保育活動の工夫・改善ができましたか。			2.7
		3	一人一人の発達に応じた課題に対して、教師の配慮や指導が適切にできましたか。			3.0
		4	日常の保育において、園児が自信や意欲を高めるような援助をしましたか。			3.0
		5	発達段階に応じた基本的な生活習慣を身に付ける指導ができましたか。			3.0
		6	日々の保育の記録を取り、次の指導計画に生かしていますか。			3.0
		7	特別に支援を必要とする幼児に適切な支援をしていますか。			2.7
	環　　境	1	用具や材料は、ねらいや活動内容に即して準備し配置していますか。			3.0
		2	他学級との連携を保ちながら、保育の場を設定していますか。			2.7
		3	幼児の活動に合わせた環境を工夫していますか。			3.0
		4	幼児が安心して生活できる人間関係づくりに努めましたか。			3.3

反省点	改善案
・今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、様々な行事が見直され、できることを考えリスク面を考慮しながら進めてきた。もっとできることもあったかもしれないが、その時々に合わせた行事運営を考えていくことが大切だと実感した。	・次年度も同様なことが多いと思われるが、その時の状況子どもの姿に合わせた計画をし、安全安心を考慮した運営に努めていきたい。
・個人差が大きく、一斉での指導や保育の難しさを感じた。	・一人一人と丁寧にかかわりながら、その子にとって必要な援助をしていく。
・個別での援助がもっと必要だったのではないかと思った。	・様々な想定をして保育をしたり、柔軟に考え対応していくようにする。
・子どもの姿を捉えることに努めてきたつもりだが、自身の指導方法と子どもの実態に合う援助ができていない時があった。特に個別の支援を要する子への手立てがどうしたらよいのかわからない時が多くあり悩んだ。	・色々な職員の目で子どもの姿を捉えてもらい、保育のヒントとする。また、自分で様々な支援方法を考えて保育する意識をしっかりもつ。
・行事への取り組みに自分自身が戸惑っていたため、子ども達にも迷わせてしまった。	・計画を立て、見通しをもって、子どもを誘導していけるように事前に確認を行う。

内			容	
	安　全	1	危機管理について、意識の向上に努めていますか。	3.6
		2	施設設備は、日常的に点検や管理が行われていますか。	3.8
		3	室内の安全、採光、換気、保温、整理整頓などに配慮していますか。	3.8
		4	事故や問題が起きた場合、上司へ報告し保護者への説明や対応は敏速かつ的確に行っていますか。	3.8
家庭や地域との連携	保護者との連携	1	保護者とコミュニケーションを積極的にとり、保育に生かしていますか。	3.4
		2	家庭への連絡や降園時の連絡をきめ細かく行っていますか。	3.4
	地域との交流	1	~~機会をとらえ、地域の人々に幼稚園に親しんでもらえるように工夫していますか。~~	
		2	~~地域の施設や自然などを保育に取り入れようとしていますか。~~	
	子育て支援	1	~~幼稚園のふれあい広場は、計画や内容を吟味し工夫しながら実施していますか。~~	
		2	預かり保育の園児の健康状態や連絡事項などについて、講師と密に連絡を取り合っていますか。	3.6

反省点	改善案
・換気、消毒には気を付けるようにしていたが、整理整頓、片付け等まで手が回らないことがあった。 ・今年度は、コロナ対応で、なかなか保護者とじっくり話をする機会が持てなかった。 ・コロナ禍での保育は、手探りとなったり、どのように対応したらよいのか考えたりする場面が多かった。どうしても共有する物が多い中で、日々の消毒はしっかり行ってきたつもりだが、　行き届かない点もあったように思う。 ・保護者とのコミュニケーションでは、偏りが出てしまった。	・定期的に意識して片付け、環境整備等を行うようにする。 ・「毎日全員と」は難しいので、１日３～４人等、まんべんなく話ができるようにしていく。 ・職員同士で共通理解を図りながら感染防止していく。引き続き、消毒や換気等、できることは皆で行うようにする。 ・意識的に各保護者とコミュニケーションをとるよう時間を設けていく。